

自社製排水管が外資企業として、中国国家標準に

カナフレックスコーポレーション社長 金尾 茂樹氏

本紙 カナフレックスコーポレーションは一九八九年設立のホースとフレキシブルパイプの専門メーカーです。

金尾 私は学校卒業と同時に住友ビジネスコンサルティング（現日本総合研究所）に入社しましたが、さまざまな理由から、大阪に本社を置く父親が創業したビニールホース等のプラスチック製品を製造する会社に転職しました。しかし、私は当時技術的なことが分からないため、大学の夜間部で工業技術などを勉強しながらプラスチックパイプの開発業務を中心に行っていました。そして、パイプなどの製造販売を行う現在の会社を設立しました。設立当初はさまざまなトラブルもありましたが、その後は順調に業績を伸ばすことができ、現在では「ライフラインが変わる。カナフレックスが変える。」をコーポレートスローガンに、配電線の地中化工事に欠かすことのできない電設資材用パイプや都市の地面下で集水、排水の役割を果たす土木資材用パイプなどインフラ関連製品をはじめ、各種工業用ホース・ダクトや掃除機・洗濯機用のホース、エアコンのダクト、さらに建材パネル

などの生産も行い、従業員は約三五〇名、年間売上高は二二〇億円ちかくにのぼっています。

また、当社は全国一三カ所に営業拠点を設置するとともに、北海道・苫小牧市、仙台・仙台市、栃木・矢板市、千葉・八街市、滋賀・滋賀県東近江市、愛東・広島・東広島市、九州・佐賀県吉野ヶ里町、四国・香川県観音寺市、沖縄・糸満市の一〇工場を展開し、ユーザーへの即納体制を整えています。

本誌 設立当初から海外展開を積極的に進めていますね。

金尾 当社では設立と同時に米国カリフォルニア州に現地法人を設置、米国での製造販売を開始し、現在ではこのカナフレックス・コーポレーション・オブ・カリフォルニアとイリノイ州のカナフレックス・コーポレーション・オブ・イリノイの米国二現地法人をはじめ、スペイン・バ



カナストーンキッチン

ルセロナのカナフレックス・エスパーナ、中国・北京の北京嘉納備新型建材、ブラジル・サンパウロのカナフレックスLTD Aの五現地法人・合弁会社を展開し、着実に売上げを伸ばしています。このうち、米国と中国ではパイプなどの生産を行っており、なかでも排水インフラの整備が急務になっている中国では当社製排水管が二〇一一年度に海外企業で



金尾茂樹（かなお・しげき）氏

1949年大阪市生まれ。1967年・神戸大学経営学部入学。1970年日米協会主催の交換学生留学制度により米コロラド大学留学。1971年・神戸大学経営学部卒業。1973年・同大学院修士課程修了。同年・博士課程進学と同時に住友ビジネスコンサルティング（現日本総合研究所）入社。父親の会社を経て、1989年カナフレックスコーポレーション設立、社長に就任。2000年・中小企業診断士協会会長賞を受賞。

高めたいと考えています。

工法で、今年三月に財団法人下水道新技術推進機構の建設技術審査証明書を取得しました。同工法は特殊な大型機材を必要としないなど優れた施工性に加え、優れた耐震性を持っており、東日本大震災以降、問い合わせが大幅に増加しています。

本誌 公共工事が減り、市場が落ち込んでいるようですが。

金尾 公共工事の減少に伴って市場は厳しい状況ですが、当社は他にはない新規商品を市場に投入することにより、売上げを拡大させています。また、当社製品を採用することによるメリットを理解してもらうことにも力を注いでいます。当社製品は消費財でないため、スーパリーなどで手にとって見ることができないので、全国のホテルに会場を設定し、ゼネコンや設計事務所、商社などを招待し、新製品の展示発表会を行っています。さらに、インターネット上にも新製品の映像を掲載するなど、当社製品のメリットを訴えています。今後、こうした取り組みで国内の売上げ拡大を図るとともに、中国をはじめとしたアジア市場の開拓を進め、海外部門の売上げ比率をさらに

唯一、同国の国家標準（CJ）に認定されたことから、今後の大幅な拡大が期待されています。

本誌 中国では超軽量建材パネルのカナストーンも伸びていますね。

金尾 二〇一一年春から量産販売を開始したカナストーンは大理石や御影石などの天然石を薄切りにし、当社が独自に開発した強化パネルを裏打ちした天然石複合パネルです。天然石の裏面に不燃性耐水性のパネルを裏打ちすることにより、天然大理石の約三分の一という軽さを実現しており、日本でも人気が高まっています。中国でも高い評価を受け、上海万博の日本政府館のVIPルー

ムの壁材として正式採用され、大連市のニュータウンにも使用されることになっています。今後は中国での大幅な拡大を期待しています。

優れた耐震性で注目されるカナスリップ工法

本誌 カナストーンはじめ、次々と新製品を開発していますね。

金尾 当社では、東近江市にあるテクニカルセンターで多方面から飛び込んでくるユーザーニーズに即応して商品開発・改良に取り組んでいます。最近ではカナストーンのほか、高性能耐圧・耐熱ホース、カナパワーニューATスーパリーや下水道用金

属補強ポリエチレン管、カナヒュームA型、独自成型方法による波付硬質合成樹脂管などを開発し、数多くの特許・実用新案を取得しています。また、下水道管渠の更生工法である「カナフレックス自立更生管・カナスリップ工法」は工期や人件費の大幅削減を実現し、鎌倉市で採用されるなど注目されています。

本誌 カナスリップ工法とは、どのようなものですか。

金尾 老朽化した下水道の中に工場から搬送されたパイプをそのままカテーテルのように挿入し、管口処理を施すだけの極めてシンプルで経済的な非開削型の自立更生管による